

イセンター(左:8/2 肝試し、右:10/9ハロウィンイベント)

### のアみ

145号 No.

## の障害者の地域移行

の生活への移行を進めてきました。 者の地域移行の方針を掲げ、入所施設から地域のグループホームや自宅で 一〇〇六年十月に、障害者自立支援法が施行され、それ以降、 国は障害

ゆみホーム」から始まりました。その後、 域の住宅を利用して生活実習をする「生活実習ホーム」の取り組みも始め 対応が困難な方がほとんどになってしまったからです。 クループホームに生活の場を移すことができました。 移行しました。入所施設「第二あゆみの家」からは、 ました。 そして、 二〇〇八年に「生活実習ホーム」は、 昨年の障害者施設等の報酬改定で障害者支援施設の運営基準に、 あゆみの家の地域移行の取り組みは、一 地域移行の動きはストップしてしまいました。入所施設には、 入所施設に籍をおきながら、 九九三年のグループホーム 約二十名の利用者が しかし、二〇一一年 グループホームに 「地域

を受け入れるためでなく、 - プホームへ移行を希望される重度の方を受け入れることはできていま ームを整備しましたが、そのグループホームは、入所施設から移行する方 ため、その希望に<br />
応えることは、 沽を希望されても、 とうかを定期的に確認していくということですが、グループホームでの牛 心となって、利用者の地域のグループホームなどでの生活を希望されるか 移行等意向確認担当者を選任することが定められました。この担当者が中 あゆみの家では、今年の四月に、重度・高齢の方に対応するグループホ 重度化、高齢化に対応したものでした。ですから、 地域の重度の方の暮らしを支える体制が極めて脆弱な グループホームで長年生活されてきた利用者 大変困難な状況です。 入所施設からグル

ていかなければなりません。そのために、 ビスの充実も必要です。そのためには、 なことだと思います。 行等意向確認担当者」の制度で、本人の意思確認をしていくことは、 に対応できるよう体制強化していくことが不可欠です。ホームヘルプサー 重い障害があっても、望むくらしを実現していくために、この「地域移 国の政策による後押しが必要です。 しかし、 地域のグループホームを、 人材を量的にも、 私たち事業者の努力も必要です 質的にも充実し 重度者

ビスをさらに充実していくための施策を、国に強く要望していきたいと思 重度の障害のある方も安心して地域で生活できるよう、地域の福祉サー 間

が

も

現

代

人

 $\mathcal{O}$ 

ょ

うに

を

も

て

あ

そば

ず、

孤

独

を

う

記

もリ

む

演

技

を

な

も

正

直 孤

率 独

直

に

お

 $\mathcal{O}$ 

れ

の

内

面

ط

向

**き** 

## 自分の内面と向き合う

理事 後藤 直紀



授 る 書 学 か  $\Box$ 61 業  $\mathcal{O}$ 校 ま 授 わ で 本  $\mathcal{O}$ た 朝 業 た チ  $\mathcal{O}$ た。  $\mathcal{O}$ を 80 ヤ ル 担当 は 礼 高 ブ 1 教 拝 毎 校 テ 発室に 朝 が Ξ ル 終 て  $\mathcal{O}$ 年 学 を 入る わ 全 61 院  $\mathcal{O}$ 校 り ま 教 7 中 な 礼 室 い 学 聖 り た 拝 に た 高 書 聖 S 向 あ  $\mathcal{O}$ 等

駄 作 う 61 い ヤ わ て كے ブレ り り な の 出 れ な まし て、 と答えまし み も 言 h  $\mathcal{O}$ するとその生徒は ン室で です 女 子 た  $\mathcal{O}$ 葉 た。  $\overline{\phantom{a}}$ 言 ずっ は を か?」。 生 み  $\Omega$ 葉 何 <u>غ</u> \_ ع そ 徒 る 思 は  $\mathcal{O}$ が、 簡 ٢ つ 11  $\mathcal{O}$ た 巡 単 つ 後 思 緒にいてくれる人がいるということだと (当 わたしは わたし  $\subset$ な な 61 5 の 文 ( ) \_\_ 出 していました。 ばらく、 時 「なるほ ように 三十六 章 にこう尋ねまし とい まし C 自 書 う著 た。 تع ك なんとなくその 分 た 歳 が、 か  $\mathcal{O}$ のことをずっと好 れ そ 作 と言い、 自 そのとき、 T そ 分 に れ 61 *ත* あ の は た。 ま る言 著 遠 それで 幸 作 藤 「 先 た 葉で . せ を 時 の 131 も 生、 の  $\Box$ きで う 人  $\subset$ 会 理 とを た。 話 解 幸 生 遠 度 に は で 61 せ 藤 思 無 チ 終 思 唐 7 拾 つ

> ぎり、 た、 葉 傷 解 絶 61 在 8 続 す か た 存 á < が 5 て に を て 者 在 望 1 探 探 れ か あ 別 人 も 7 を は  $\cup$ 間 る。 Ŋ エ ぎ  $\mathcal{O}$ Ħ < 求 た 間 ス り ま て れ 続 著  $\mathcal{O}$ え 真  $\Diamond$ 人 は は ਰ 条 件 る け て 間 人 作 61  $\mathcal{O}$ 必 る。 こと 生 に も る 理 間 永 は 自 ず、 「だか な は な 前 の 遠  $\mathcal{O}$ 解 分 の そ だ。 に も 歴  $\subset$ 者 愛 そ  $\mathcal{O}$ 0 C そ 回 5  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 史 を 望 悲 を あ の 切 ょ が 伴 ょ 他 そ 17) 3 裏 る う 者 死 人間 3 な う 続 者 1  $\mathcal{O}$ を 切 ۲, な な 後 < が に は 61 失 を 5 求 ま 対 願 か が 理 も

、「ひこずら里岸」らい、こうことに応えてきたのだ」(『キリストの誕生』)。

説 ベラ か の、  $\mathcal{O}$ 1 明 ? 遠 エ ス ル 藤 大 をどう 幸 ま 事 な  $\mathcal{O}$ せと す 考 言 な か え 葉 も は 理 は 方  $\mathcal{O}$ 何 が を 解 か」と問 もって そこ す 3 á な か、 さ に 含 い h わ ま た そ の ħ ようです のことにつ 心 れ たとき、 に abla61 の る ように が、 み ょ うに なさんだっ で て 響 思 遠 も 61 61 藤 た ま 何 た C す。 か か 深 な ょ 上 61 5

5 ば、  $\mathcal{O}$ 17) は 必 ず、 あ る 存 在 を 求 め  $\overline{\phantom{a}}$ い る の だ。 愛

に

合う

な

### 限 ら れ た 中 に ₺ 楽 L み を

栄 養 士 古

が

そ 広 ア

ン كے す 思 あ ュ は 節 つ Ø 複 て 1 特 3 の 数 お に Х 0 り そ 家 手 提 の 作 の り 供 131 時 1 毎 いどう、 期 和 は  $\Box$ て に 菓  $\mathcal{O}$ تلع 子 い 食 すい ま か の デ 事 す。 な 施 ザ に か、 61 設 1 お 果 1 て 61 等 て、 な物 も 大切 は  $\mathcal{O}$ 楽 ぜ  $\mathcal{O}$ に か 節 食べ さ き、 み  $\mathcal{O}$ を設 メニ れ ablaablaちごは 61 61 け ただ る 7 1 لح シー きた ま 思 誕 す い ズ いま  $\Box$ 

て をホる 日がて  $\sigma$ 利 も 厨 C れ つ お いた グ 用 か 尋 す 選 ツ 方 曜 次 中 て メニュ は を が ば 泣 < ね  $\Box$ 61 者 に 利 ۴ 多 だ 提 か る  $\mathcal{O}$ す h れ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ さ 何に 用 者 は、 3, る ツ 朝 1 せ ま い ま 誕 ル グ、  $\mathcal{O}$ が C 生 لح す で 食 を  $\mathcal{O}$ 生 ⊐ ا さま その きる大切な メニュ 即 す J۴ 組 IJ  $\Box$ . ン 類 クエ た 座に ようかなぁ」とお話される方も その が、 食 み メニュー 焼 メニュー スでリ の中には、 きそば 18 だきまし ф 入 ま こっカレ ンや <sup>〜</sup>です -から選 ラ ト ħ 誕 ١ ほ ること が か か 生日メニュー クエスト 機会 多い - ですの 0 J۴ に つ を た。 1 特にご た 1 み 事 つ h 何 なさん で て ライス」とお答えされ ル C C 前 61 カ月も前 ハンバ で、 す す す。 てご なってい パンなど)  $\mathcal{I}$ 61 に される方も が、 ン 年 た お パパンは ただくの バ お料理 その方には ま 配 になると、 聞 紹 通 た、 ١ 1 の き 介 から誕 ます。 常の 方には グかとんか ガ を 好 C 1 X  $\mathcal{O}$ ま い メニュ · 楽 し など魅 す 1 ま 写 誕 す らっつ いいらっ 生日が ンの カレ ħ が、 サンドイ ま 助 真 生 を た、 みにされ る  $\subset$ 六  $\Box$ る方 寿 カ ようで、 とくに人 ١ つ 1 お 61  $\mathcal{O}$ れ しゃ 楽し ゃ に か 司 くつか 聞 の 的 か タ は ・ッチ、 トッ も。 き は ず C が な 食 入 れ み ま 悩 も  $\overline{\zeta}$ な 人気 に 取 所 ば で Ŀ せ 毎 気 け ま の 61 見 その

> 1 さん れ が デア り も ま ま ۲ い た楽 ਰ をい 相 利 談 用 誕 ただくこと 者 生日 て み さ で 決 ま  $\mathcal{O}$ す 80 に 方 る つ の多い こと が 61 あ 7 り、 も は、 月はごちそうが続くとき あ そこでま り 普 ま す  $\mathcal{O}$ 嗜 た すると今までに 好 を 新 考慮 い メニュ  $\cup$  $\overline{\zeta}$ も あ 1 な支 り、 がい援

き)、 れてい して で、 楽し さらに二年 い お Ø みになって る は ま ず す。 もの ぎ、 ŧ h から、 これ 水ようかん、 前 じ か ゆ しし は 5 うとい は、 ま 金 給 玉羹 す 食 委託 手 つ 作 三色団 た上品で珍 きんぎょく 業 り 者さんの 和 子、 菓 子 ぜ  $\mathcal{O}$ か h ご デ 61 ん ざ 提 ザー お しし 案 菓子 水な無ど C 1 始 を ま  $\mathcal{O}$ 月 ま 月 C ょ つ 3 < た 毎 なづ 知 も 提  $\mathcal{O}$ 5  $\mathcal{O}$ 供

お

なって す。 多 方 季 す 入 < は、 所の 節 の 口口 で、 を さらに、 こ いその の 感 利 れら じら 用 て メニュー 方 きるだ 者 っさまは れる の の 偏 食 嗜 特 別 が お け は 好 楽 外食 どうして 強 食 メニュー  $\mathcal{O}$ 事 新 61 はする機 を 召 みに た 方 か、 な 発 U なるような も  $\mathcal{O}$ 見 場 嗜 好 上がって 会 定 合には ے も 番 を言 今 لح 化 後 7 し 召 葉 い の も も て Ċ ただ 参  $\mathcal{O}$ 限 考に 表 上 も 5 ま iがられ きた すことが れ 61 な 新  $\overline{\phantom{a}}$ ま る 61 しし す る 機 لح 61 ま 考え 難 も 会  $\subset$ す ま とがいま  $\mathcal{O}$ C

赤 からこそ可 飯 誕 生日 力 X \_ \_ \_ ١ ۱۴ 能 ン、 ١ なメニュ は 五 他 目ぞ に ŧ 1 か うすい、 に なと思 し h そ 揚 い げ ば ま ۱۴ す 肉 ン、 ま h オ 施  $\Delta$ 設 ラ 内 1 調 ス 理









踊らに魚後も歌し平わたは様

嬉ま

にを加

なみさ

りてれ

ま笑た

し顔ご

たに家

な族

らの れ方

ても

り利

支用

援 者

者の

と方

しが

て楽

お

### 入 所 施 <sub>第</sub> 設 で あの <sup>ゆ</sup>楽 し

3  $\mathcal{O}$ 家み 活 支 援 高 木 裕

花

だ

け

て

楽し喫

した茶

うし

がのや外 いなマよし きりスう ` た々とりあ にいまゆ コっしみ ロたたの ナ行ま家 前で のご夏帰 日家祭省 常族りや

しれ夏られ走釣、みをたにく。、、八送方あ出コいて祭れまるりアえ聴。着感提施家二れ参みがナ気いりまし方。オイスいな 持るにしたも数ストをで後え増等の族日る加の徐ウ ち姿参た 最れとリッ器にれれ節を方土うれ祭にル 1 は、 演初いいを用加は、5つうれ収 奏めまきつ者されてにスる。 でにスる東  $\Delta$ み た せ た<sup>方</sup> のム れ夏 れ力いして方て祭 . い . . . . . . を 周  $\Delta$ <sub>廻ごさ</sub>たのオ たっなかっとの 関がおり りめ できたいった でされておっておしており、一緒に飾り、一緒に飾りの開催でした。 つ にいが 催たらにがみば一り にがみ、一りたましたと皆層つ。し 催出され わし れ店まずわ待さ祭け当た せま てれまっしされたんりを日。 盆るしたままれ浴へ行の昨 こままれ浴へ行の昨 盆るし 踊方たナーれして衣のい午年 りも、一そるたいやわま前度 をお食やの方。ま甚くし中同

夏祭り

もし

いちょうG喫茶外出



ふじG一日外出

なるえ為所んしみス月謝さスが月 ` 施終たたに二をれバあ五店 よあ施利設始。り乗一伝て1り日内日 うと設用で笑しまり日えおガま。金 てさであり 出。体っいれ屋ったの月にれ利りをこ験てって食」はじまった。 て食ただが者連ずまま 模れが行とまった。 やいで事ないのである。 ないで事ないのである。 をはいるとしている。 をはいるとしている。 阜グのれ 。女いり出 しや音にしずん つ数性ちまも いたの利用の利用の利用のできまれている。 日利ょしテ 前用うたイ 食きし用 か者グ ク べなた者 温て らでル まあ 皆別 l 5 N°. ウ れる経水職 まがさ日プ 1 しとんでの

とみが外

外たなと る もるやか してるかったい、の外な。 き利で出か ま用大等外 す者切はに 。さなご出 んイ家る ま のべ族機 楽ンの会 しト方が

みでにな

皆れ魚で

とあ会い入さまをバ十感にモ出九くま

験族員

を館全

さで員

### サ ] ピ ス 管 理 責 任 者 等 会 議

サ 1 ビ ス 管 理 責 任 者 等 会 議 担 当 櫻 井

章

て る まれ も そ も す 少 分 る  $\mathcal{O}$ 身 野 大 ょ 子 限 近 C き う 高 0 な は < に 蚧 で 存 な な な 化 は 在 < つ つ  $\mathcal{O}$ に あ て た 進 9 な 現 展 誰 6) ま 0 も ま 代 な つ せ が す 社 つ 会 多 h 61 に 様 あ つ 福 (N か 祉 お な 関 は 61 生 障 わ き が る 特 方 別 可 福 61  $\mathcal{O}$ 能 な祉 価 分 性 人  $\mathcal{O}$ 値 だ 野 役 観 の け 割 が に あ る が 尊 お は 61 関 ま 重 とわ て す さ

て  $\mathcal{O}$ さ せ 在 て C そ に て る 橋 す 福 支  $\mathcal{O}$ す  $\mathcal{O}$ لے 支 渡 祉 援 ф 援 サ 計 0 通 C 直  $\cup$  $\sqsubseteq$ を 接  $\mathcal{O}$ 称 ١ 画 重 形 を ケ ビ を 想 要 ア ス サ U 立 い な 全 ビ を を 役 て て チ 行 体 丁 管 割 う  $\sqsubseteq$ 1 を ス 寧 を 61 だ ま 夕 に لے  $\Delta$ 担  $\mathcal{O}$ け لے ツ 受 呼 う ま す 方 て 80 フ け ばの る لے 向 な 止 れ が 共 性 < 8 る  $\neg$ 指  $\subset$ を に サ 利 実 揮 希  $\mathcal{O}$ 1 示 す 用 者 現 望 仕 ビ 者 せ  $\subset$ 事 ス U لح لے 課  $\mathcal{O}$ て は ス ょ 61 題 理 夕 う 利 に 安 ツ な 合 用 任 フ 存 ıŊ ま わ 者 者

لے 24 者 せ しし さ 課 士 う 5 題 が 取 に 集 0 に つ ま 組 あ 9 24 Ø しし て が 3 勉 意 あ  $\mathcal{O}$ 見 強 0 家 ま を 会 に な 交 す は わ 事 す 例 サ  $\subset$ 揚  $\mathcal{O}$ れ 1 て 共 ビ は す 有 ス サ 管  $\Box$ 現 1 理 ビ 々 場 責  $\emptyset$ て ス 任 抱 管 者 業 え 務 理 会 て る 責 議 得 悩 任

き

に

 $\cup$ 

き

墼 しし 5 が 工 1 夫 た つ て ゃ 知 新 識 6) ま も 経 す 61 視 験 点 を が 持 生 ち 寄 ま る れ  $\subset$ لے サ で、 1 ビ ス 人  $\mathcal{O}$ C 質 は の 向 気 づ 上 け  $\wedge$ 

بح

な

す ょ 80 会  $\subset$ ル す ア لح る 1) 合 議  $\subset$ う は に ツ 安  $\subset$  $\mathcal{O}$ プ لح ıŊ  $\subset$ も 会 ط は て 未 あ 議 豊 来 で 0 さ も  $\mathcal{O}$ ち  $\mathcal{O}$ ま 5 か 利 福 す に ろ 的 な 0 環 用 はん 祉 は 者 境 を 言 地 が に 育 61 ス 利 域 لے て 換 ゃ 夕 築 用 つ る ツ 者 か え 他 7 場 フ 1 業 n も ば 種  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ て 0 ス لے 育 支 61 < 夕 互 サ  $\mathcal{O}$ 成 援  $\subset$ 61 ツ 1 連 せ を لح に ビ 携 法 フ ょ を に 学 を ス 人 0 願 とび 管 強 全 良 つ つ 合 理 め 体 しし て て 61 責 て  $\mathcal{O}$ も も 任 ス 61 しし  $\mathcal{O}$ 者 < + ま 高 に

た フ 7 切 性 各 も  $\mathcal{O}$ あ h t な 事 て 1) 61 つ  $\mathcal{O}$ 課 لح け て 業 ま 利 ١ 思 つ 1 11 題 所 な サ す 用 ビ ば 者 て け 等 内 1) 1 ス لح ま ビ そ لے ま も る を  $\mathcal{O}$ 管 す ス ス 明 考 み 理 す ょ 共  $\mathcal{O}$ 0 る え う 有 C 管 分 夕 責 < て 処 そ 理 ツ 任 楽 お サ て 理 青 そ フ 者 n 9 す 5 任  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 1 は ま ビ カ る を 者 今 た しし 責 す ス 各 が 任 ط だ 未 を  $\mathcal{O}$ 来 管 合 ~ 々 抱 せ 未  $\mathcal{O}$ を 利 理 わ は  $\mathcal{O}$ え 仕 来 用 責 な サ 作 せ る 事 を 管 れ 者 任 て < 1 課 量支 理 ビ る に 者 解 題 は え 者 لے 決 法  $\sqsubseteq$ ょ 会 ス も 大 る う き C つ 議 人 管 悩 大 < 努 て 全 理 24 切 は め も を 共 体 責 も な な あ に ス C abla活 仠 大 1) 存 1) 夕 用 乗 方 者 き ま ま 在

り 向 ゃ

しし

す

て

TEL

# 相手の「身」になって考える機会を

西 濃 障 が 61 者 就 業 生 活 支 援 セ ン 夕 竹 ф 秀

友

雪

持

れー

か

5

取

릸

先

لح

の

大

切

な

商

談

な

 $\mathcal{O}$ 

に

لح 像 لے 器 岐 に を Н 61 を 阜 放 私 V 視  $\mathcal{O}$ う て 使 県 象 た R 聴 特  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 用 発 に ち لے 性 が 達 各  $\mathcal{O}$ ||V に 障 線 種 セ 発 バ 害 R つ 的 C  $\mathcal{O}$ ン . . ゴ | 達 1 者 61 夕 て 発 研 障 チ  $\overline{\zeta}$ す。 達 支 1 修 が ヤ グ 援 障 で を 発 内 61 ル ル が セ 行 は 達 IJ  $\mathcal{O}$ を 容 61 ン つ 障 アリ 事 あ 使 は タ 7 を が 業 る ١ 用 取 61 の 1) テ 視 方 ے 0 ま  $\mathcal{O}$ 1 7 覚  $\mathcal{O}$ す。 共 巻 つ あ 特 催 の < 今 لح る 聴 発 性 体 課 で 方 覚 達 験 を 行 題 て の  $\mathcal{O}$ 障 は 体 C に 61 1 去 西 感 が 験 つい ま ンタ 濃 る 覚 61 過  $\overline{\zeta}$ 九 地 体 た て 月 域 敏 験 考 当 ュ V + $\mathcal{O}$ 会 え Α 事 七 1 R 企 る 映 D 者 を 機 

か あ ン に h (D) C き ち は レ 人 ま 消 5 生 体  $\mathcal{O}$  $\boxtimes$ ず て か 調 声 切 を は Ų が ま は が 5 左 聴 悪 す 商 面 れ 右 覚 面 っぱお 61 談 接 7 す 接 場 が、  $\mathcal{O}$ 官 61 る か  $\mathcal{O}$ 面 か の た る こちら げ 場 設 ط 声 め も て は 定 ط 10 の 面 質 少 は 配 の 接 C 問 就 され じ 少 Ē に は 開 職 位 々 の ま 空 け 7 面 の ざわつい 言 たス لح 調 接。 音 葉 も  $\mathcal{O}$ ま 量 は 音が に  $^{\circ}$ 面 61 で 答 接 ١ ま 飛 7 言 え ス。 の び 61 7 も 5 結 た 込 ま Ι۴ 聞 面 果 1 h す き 接 ず ١ が C 官 テ 逃 き せ  $\mathcal{O}$ 周 面 1 れ ま 声 り シ 接 ま か す を 官  $\mathcal{O}$  $\exists$ せ 5

h  $\emptyset$ て 通 次 に 過 ま 視 な 覚 つ た 明 同 9 る 僚 真 さ ۲ つ が 車 暗 て に ま 街 な ぐる ф つ を た 移 り < 動 変 ф ま わ ਰ ° ٢ る 61 時 さら う は 場 視 に 面 界 緊 張 が 1  $\dot{\Box}$ な تلے < ネ 飛 ル

働

が ち が 舞  $\mathcal{O}$ 発 揺 つ 生 て 5 ぎ 61 た が る り 見 か で、  $\mathcal{O}$ え ょ 方 う に 僚 影 な لح 視 響  $\mathcal{O}$ 覚 を 打 的 与 合せ な え 7 も イ 耳 ズ(ビジ が に チ 入り 力 チ ュ ま 力 ア せ ル た ス り

た。 が 頭 1 ベ 気 最 . て 不  $\overline{\phantom{a}}$ が に 後 整 要 61 な に 理 ま 杯 な る つ Α 整 たと に つ 情 D お 頓  $\overline{\phantom{a}}$ 報 な Н 弁 が 61 り 思 に D 当 上 ま な え 体 の ま 手 ば、 つ 験 事 た < ablaた て も 再 出 上 U す 忘 び 司 来 ま れ か 尽 な 61 T に 5 休 61 気 つ 業 み 為 が ま < 務 に  $\mathcal{O}$ 散 つ 物  $\mathcal{O}$ 余 場 9 て が 進 計 面 61 大 気 捗 に る に 事 を 物 な な 聞 に が 事 61 り か 付 散 う 最 れ < を 乱 次 内 終 て 物 容 そ 々 的 が そ て れ 突

て

食

忘れ

然

不 れ Α  $\emptyset$ た。 た 考 採 D 言 今 え 用 Н 葉 車 過 だ D を に 私 ぎ に 聞 つ 同 も 7 た き 乗 体 疲 61 0 逃 して 験 れ 7 す 上 す て も ま 司 い る に し 肝 61 る 事 ま 叱 ıŊ ٢ だ が しし 5 な 必 け C ま れ 事 要 C き す。 た は 以 も ま り 何 上 強 登 ط に 61 婸 た つ しし 集 刺 が う 進 中 激 た三 疲 結 ま す を れ 果 な 受 る 人 ま が け 必 61 は 予 要  $\mathcal{O}$ 続 た。 に 想 そ が け さ  $\mathcal{O}$ あ ま あ 面 れ 0 れ 後 接 ま 官

る き 9 参 な だ 事 易 加 け が 61 の 職 て わ た 意 も 揚 か 企 見 環 サ つ 業 が た 境 担 ポ あ 作 当 1 「こう 9 者 1) 1 ま  $\mathcal{O}$ に か U な 5 い た るし 助 は う に 今 特 な 社 性 発 れ が  $\mathcal{O}$ 達 内 ば 研 て 障 あ لح る が 修 も 思 が لے 61 61 皆 R 61  $\mathcal{O}$ ま さ 研 う 方 す 事 h  $\mathcal{O}$ 修 に 気 が を 出 知 持 つ 来 つ ち  $\overline{\phantom{a}}$ 

61

困

### 出来事ピックアップ



9/11(木) 推しうちわ作り 【林町デイセンター】



9/13(土)観劇会 【デイセンターあゆみの家】



9/13(土)運動会 【第二あゆみの家】



9/19(金)日帰り旅行 琵琶湖博物館 【ぐっどらんど】



10/4(土) おやつ作り 【デイセンターあゆみの家】



10/4(土)焼き芋【第二あゆみの家】

### 最近のできごと (8/1~10/31)

### デイセンターあゆみの家

8/2 (土) 選択活動 水遊び・カラオケ

9/13 (土) うりんこ観劇会

10/4 (土) おやつ作り

10/17 (金) 一日外出 アクアトトぎふ

10/31 (金) 一日外出 アクアトトぎふ

### 林町デイセンター

8/2(土)土曜日活動(夏祭り&肝試し)

8/22(金) 喫茶外出(ライズオンカフェ)

9/11(木) ポップコーン G 喫茶外出(アルプラザ)

9/25(木)秋の運動会

10/4(土)炭火焼体験

10/16(木) 日帰り旅行

(彦根キャッスルホテル&スパ・ラコリーナ)

10/28(火)日帰り旅行(福井恐竜博物館)

### きずな 2006 - 2025

10/7(火) きずな日帰り旅行: 木下サーカス

10/17(金) きずな日帰り旅行:

伊賀の里 もくもくファーム

### 第二あゆみの家

8/2(土) 夏祭り

9/13 (土) 運動会

9/5(金)、9/16(火) いちょう G 喫茶外出

9/26 (金) ふじ G 喫茶外出

10/21(火)ふじG一日外出 アクアトトぎふ

### ぐっどらんど

8/2 (土) 全体喫茶(夏祭り)

8/2 (土) 綾里センター祭りに販売で参加

8/19 (火) レントゲン検診

9/19 (金) 日帰り旅行

(琵琶湖博物館、かねふくめんたいパークびわ湖)

### 西濃障がい者就業・生活支援センター

9/17(水)企業ネットワーク会議

「発達障がい者サポーター養成研修」

9/20 (土) 第一回 第二回 交流会

9/25 (木) 障がい者ジョブミーティング西濃

10/21 (火) 福祉ネットワーク会議

### 行事予定

12/20(土) クリスマス祝会

12/25(木) 大垣ルーテル教会にて礼拝(職員参加)

### ボランティア (8/1~10/31)

9/2(火) ふうせんかずら(林町デイセンター)

9/13(土) ユキノオト(林町デイセンター)

学生ボランティア 8/18、8/19、9/3、9/5(林町デイセンター)

### ふれあい交流 $(8/1\sim10/31)$

10/29(水) 不破中学校職場体験(デイセンターあゆみの家)

8/1(金)、8/2(土)、10/14(火)

大垣特別支援学校職場体験(ぐっどらんど)

### 編集後記

あゆみの家には大きな栗の木があります。短い秋を楽しむために栗拾いをしました。丸々と膨らんだ実を渋皮 煮にして利用者の方に食べていただきました。美味しいと喜んでもらえる顔を想像しながらの栗仕事の時間はと ても楽しいものでした。どれだけ時間をかけても一瞬でお腹の中に入ってしまいますが、準備する時間を楽しむ 心のゆとりは大切だと思います。神﨑(愛)

編集:社会福祉法人あゆみの家

〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原 2066-2

Tel 0584-22-4333 代 FAX0584-22-4344

URL https://ayumi-ie.com/

E-mail <u>ay464h@he.mirai.ne.jp</u>



### グループホームのご案内

●めぐみホーム

●東神田ホーム

不破郡垂井町東神田

●表佐ホーム

不破郡垂井町表佐

●別庄ホーム

養老郡養老町橋爪

●あいかわホーム

不破郡垂井町

AYUMI IE GIFU 公式 Instagram

(O)

●橋爪ホーム 養老郡養老町橋爪

不破郡垂井町表佐